

新津地区公民館運営審議会会議概要

新津地区公民館

実施年月日	第5期 第4回 新津地区公民館運営審議会 平成29年2月22日(水)実施		
会場	新津地区公民館 304 研修室	傍聴人	0人
出席者 (委員)	伊藤愛子、大泉直美、大沼直子、川瀬雅司(副議長)、相馬真紀子、中川陽一、 皆川美穂子、渡辺和典(議長)、渡辺義光 [敬称略]		
出席者 (事務局)	新津地区公民館：江田孝志(館長)、伊藤義則(主任)、渡辺ゆかり、佐藤恵子、 川近和雄、堺葉子 小須戸地区公民館：櫛谷敏行(館長)、渡辺昌子		
議題	(1) 平成28年度事業中間報告について (2) 平成29年度事業計画(案)について (3) その他		

審議された議題について、以下に記載する。

1. 開会

議長あいさつ

2. 議事

(1) 平成28年度事業中間報告について

新津地区公民館(説明者：渡辺、川近、伊藤)

小須戸地区公民館(説明者：櫛谷)

—質疑応答等—

(皆川委員)

前回の運営審議会の中で、小須戸地区公民館の家庭教育講演会について、意見を受け入れていただき、このような事業を実施していただきありがとうございました。私も保育者として参加させていただきましたが、とても穏やかな保育室でしたし、幼稚園に慣れていらっしゃるということもあったのか、お母さんたちも子どもたちも特にトラブルや泣き叫ぶこともなく、穏やかでいい保育になったと思っています。また、公民館やまちづくりセンター以外で、こういった会が持たれる成功例になったのではないかと感じました。来年度以降もこういった工夫を重ねながら、地区のお母さんたちのために、こういった機会を継続していただければと思います。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。お母さん方からいただいたアンケートの中でいろいろご要望がありましたので、これから検討させていただきます。よろしくをお願いします。

(皆川委員)

また、全体を通してこうやって写真付きの報告をいただいて本当に分かりやすく、皆さんの実施状況もよく分かって、とてもよかったと思います。ありがとうございました。

(渡辺議長)

皆川委員がおっしゃったように、今回、カラー刷りのものを配付していただいた関係で、非常に活動が分かりやすいという印象を受けました。また、いろいろ工夫されて、挑戦しておられるのだなということが伝わってきました。

ほかにいかがでしょうか。

(事務局)

先ほど各学校の報告をさせていただきましたが、追加でもう1件。今年度、学校との連携を深められた事業で、新津第三小学校です。プレママ「命の授業」ということで、こちらは昨年度、妊婦の家庭教育学級を新津第三小学校で開催して、児童とふれあいながら命の大切さを学びました。今年度になって、昨年妊婦だった方が子どもを出産して、その後、同級会という形ででしょうか、再度新津第三小学校を訪問して、前回一緒に授業を受けた児童と再度の交流を持ちました。当時、お腹の中にいた赤ちゃんがこのように大きくなりました、生まれてこうなりましたということを児童と一緒に、また命の大切さを学んだ授業になります。

また、今現在、「手仕事かふえ」を3回の連続講座で開催しています。新津第三小学校区の住民はもちろん、興味のある方を募って、20名近い方の参加となっています。すでに参加した方々が、今後も定期的に、公民館の事業でなくても学校に集まって、学校のボランティアや自分たちのこういった手仕事をやる場として活動を続けていただく予定になっています。学校にも喜んでいただいている、今後もいろいろな活動ができるのかなど、我々も非常に楽しみにしています。

(渡辺議長)

ありがとうございました。皆様、特にございませんか。

では、平成28年度事業中間報告については終わらせていただきます。

(2) 平成29年度事業計画について

新津地区公民館（説明者：伊藤）

小須戸地区公民館（説明者：櫛谷）

－質疑応答等－

(川瀬副議長)

個々の事業ではないですが、山を利用する事業に関して、去年、一昨年あたり、けっこう春先から夏にかけて熊が出没して、事業として成り立たなくなったということがあったと思います。そういう熊対策みたいなことは何か公民館としては考えていますか。

(事務局)

公民館としては、特にありません。住民に対する周知は消防や総務課のほうでやっていますが、公民館としては特にありません。

(川瀬副議長)

公民館のエリア内。

(事務局)

公民館としてどういうことができるのかということですが、情報をお知らせする形になると思います。消防なり総務課から情報は入ってきますので、全部の段階では流してはいませんが、子どもの関係などでは、キッズクラブなどに情報提供しています。それ以外にも、消防、区が関係団体に注意喚起をしています。

(川瀬副議長)

細かな注意喚起ということをお願いしたいと思います。

(渡辺議長)

「茶の間の学校」ですが、地域の茶の間、居場所、支え合いの仕組みづくりとかいろいろなことが出てきています。もう少し具体的に、どのような内容をやろうとしているのか、参考にお聞かせいただきたいと思います。

(事務局)

今、少子高齢化ということで、これから先、若者何人でお年寄りを一人支えていくか、だんだん支える人数も少なくなってくるということで、団塊の世代が75歳になる平成37年をめぐりに、地域に住んでいる人が中学校区域くらいの範囲で、医療が受けられて介護が受けられて、地域の人が見守って介護になっても地域で支えられるようにというものを地域包括ケアシステムと呼んでいて、それを目指しています。医療については、当然、病院がありますのでそこにかかっただいて、退院したらまた地元に戻ってくる。介護が必要であれば、いろいろなところに、介護施設、通所もあるし入所もありますけれども、そこに行っただく。

この茶の間については、生活支援ということで、いつまでも地域で元気に暮らしていただくために、今まででいえば老人クラブとか自治会、ボランティアといった組織があったわけですが、それに類似したものとして、建物を一つ、空き家とかを利用して、そこに通っただきます。そこで同じ年代、若い方もボランティアで入ってきたりしますが、そういう方々と話をしてもらったり、孤独化を防ぐという意味からも、そういうところに顔を出っただいて介護予防をする、地域の人のお年寄りを見守っていこうというのが地域の茶の間になります。

講座の内容については打ち合わせ中ですが、まずは、地域の茶の間の必要性を講師の方からお聞きして、どういうものを皆さんから知ってもらわなければいけないので、そこから入っただいて、具体的にはこういうものですよということを皆さんから知っただくということです。

今のところ6回くらいの講座の予定ですが、実際の茶の間の作り方、実際に作ったところの事例を研究しながら、皆さんの地域でもできることはしていきたいと思います。前半はそういう意識啓発がメインになると思います。最終的には、自分たちの地域を自分たちで守っていこうという意識づけと、できれば茶の間を起ち上げて、皆さんで運営していただきたいというのがこの講座の趣旨だと思っています。具体的には、本庁の地域包括ケア推進課と打ち合わせして、決まりましたらご案内させていただきます。

(渡辺議長)

学習会的なものになるのでしょうか。

(事務局)

そうですね。実際、作ったところの事例なども、もしかしたら今やっている茶の間に見学に行くかもしれません。

(相馬委員)

「茶の間の学校」は、どういう方を対象とされているのでしょうか。

(事務局)

対象は成人となっていて、特に限定はしていませんが、実際、石山地区のときは、リタイアされた方が多かったでしょうか。リタイアして少し時間に余裕があって、まだ自分自身は元気で何かしたいという方が来られていたようです。中には若い方もいたようですが、基本的にはどうしても日中にやりますので。

(相馬委員)

小須戸コミュニティ協議会で茶の間を一つ持っているのですが、先日、秋葉区社会福祉協議会が主催の茶の間の補助金の説明会に行ってきました。その中で、秋葉区内にこんなに茶の間があるのかというくらい、たくさんの茶の間の主催者がいらっしゃいました。歩いて行ける距離に一つ茶の間がという感覚で持ち上げておられると思いますが、それにさらに茶の間を持ち上げるという趣旨の勉強会なのでしょうか。茶の間を持ち上げている人たちは、今、チラシで見たような河田さんの茶の間などにはすでに見学済みだと思います。そういった茶の間を主催している人のための講座なのか、それともこれから持ち上げたいという自治会とか団体の方向けの講座なのかが曖昧だと思います。

(事務局)

基本的には、これから持ち上げてほしいということで、今やっていない方を対象にしていますが、今、いろいろなところで、おそらく河田さんのところでやっているような形態ではない、常設ではないところもあるかもしれませんが、そういう方にも参考にしてもらってもいいと思います。

(相馬委員)

そういう講座を開く必要があるのだとしたら大丈夫だと思うのですが、なかなか人集めが大変そうかなと考えてしまったので。

(事務局)

石山地区でやったときも、多くの方が集まってくれました。リタイアしたばかりというように、時間的に余裕があって地域のために何かしたいけれども何をしたらいいかなという人が来てくれました。

先ほどの年代の話ですが、やはり 60 代、70 代が一番多かったようです。若い方で 30 代が来られています。講座を受けられた方に最後にアンケートを取っていますが、自分で持ち上げてみたいと思ったという方もいらっしゃいます。コミュニティビジネスの講座ではないですが、最初はあまり興味がないかもしれないけれども、実際に話を聞くと、私も地域で何かやってみたいと思って帰られる方がそれなりにいらっしゃるので、やってみる価値はあるのかなと考えています。

(伊藤委員)

コミュニティビジネスに参加させていただいたのですが、家庭の都合で最後までは出席できなかったのですが、確かに、あの後どうなったのかなというのは少し気がかりです。今年度も実施されるということですが、時期の案はないのでしょうか。昨年度は時期が悪くて、年末の忙しい時期と大雪の時期にかかってしまって、いい時期がいつかというのは皆さんで違うと思いますが、その辺をお聞かせ願いたいと思います。

(事務局)

今年度のコミュニティコーディネーター養成講座は非常に悪い時期で申し訳なかったです。1年間のスケジュールを考えるとあそこしか空いていなかったという状況で、皆さんにはご迷惑をおかけしました。

先ほどお話ししたように、非常に反響が大きかったものですから、できるだけ暖かい早い時期に、今回の熱が冷めないような時期にやりたいと考えています。コミュニティビジネスだけを考えるのであれば、田植えが終わってから。ぜひ、農家の方にも聞いていただきたい話です。前はそういう方にお声がけすることもできず、チラシと広報だけでした。ただ、少ないながらも参加された方からは、ぜひ、何かやりたいと。早速始めたいという感想をいただいています。回数は5回で考えています。これは予算との相談にもなりますが。

(渡辺議長)

計画案では3回程度ですが、5回程度ということですか。

(事務局)

今、3回で収まるかどうか検討中です。少し難しいかもしれないという気がしているので。

(事務局)

平成29年度の回数はあくまでも予定で、今年度ベースで記載しています。

(伊藤委員)

あんなにいいものが、時期が年末と大雪でもったいなかったという気持ちが残ったものから。時期のいいときのほうがいいのかと思います。

(渡辺議長)

ほかにいかがでしょうか。

なければ、平成29年度事業計画(案)について終わりにしたいと思います。修正できるところは直していただいて、いい計画になるようよろしくお願いします。

(3) その他

(事務局)

その他ということで、3点あります。

まず1点目、新潟市になって公民館の有料化など、制度統一が平成24年にあったわけですが、それから5年経ちました。中央公民館から各地区公民館の施設利用のあり方について、委員さんから意見を聞いてほしいと話がありました。具体的には、料金が適正かどうか、また、新津の場合ですと午前、午後、夜間の三つのコマでお貸ししていますが、他の公民館では午後を1時から3時、3時から5時までの2コマで貸しているところもあります。私ども公民館の窓口で、特にお客様から料金がどうにかならないかという話や、貸し時間帯についてこうしてほし

いという声は直接耳に入ってきていませんが、もし委員の中で利用者の声を聞いていればお聞かせ願いたいと思います。個人的な考えでもいいですし、料金、貸し時間、それから飲食について、特にお酒の関係でしょうか、昔ながらの公民館だとお酒もオーケーにしているところもあります。皆様のほうで日ごろ利用者から何か聞いているとか、お考えがあれば、お聞きしたいと思います。

(渡辺議長)

利用料金とかコマ割りといったものについて、5年経過したということで、これまでやってこられて、住民の声というか要望といったようなもの、あるいは課題などがもしあればお聞かせいただきたいと思います。いかがでしょうか。

(相馬委員)

私はまちづくりセンターで仕事をしているので、時間帯とかコマ割りについて、職員の中で検討はします。今、まちづくりセンターでは午後2枠になっていまして、1時から3時、3時半から5時半です。利用者のことも考えているのですが、こちらサイドは1枠のほうがいいのではないかという話も出ました。ただ、利用者に聞くと、やはり2時間というスパンがちょうどいいというのです。女性の方が多いので、特に夕方4時、5時になると、その時間まで活動してられないからというご意見もあるし、まちづくりセンターは小須戸公民館時代からそのまま同じように使っているサークルが多いので、多分、その2枠という時間帯が身につけているのでそのまま踏襲させていただいています。高齢の方が多いので、活動する時間は2時間で十分だというご意見もあります。2時間以上やると疲れるからいいというご意見が意外とあるので、その辺の検討があってもいいのかなと思いました。

(事務局)

新津の公民館は、部屋数もそれなりにあって、同じ部屋を2コマで使いたいという要望もなく、今のところ午前、午後、夜間の大きな枠で特に支障はありません。ただ、今後、利用団体が増えてきたりすると、今言われたように2時間使えればいい、午後全部使うより半額の値段でといった話も出てくるのかなと思いますが、もともと公民館の利用料金は低く設定してあるので、そういったご意見ありません。確かにそうやって細かく割ったほうが利用しやすいところもあるのかなとは思っています。

(渡辺議長)

前回、新潟市の議長、副議長、公民館長の会議の集まりときもその課題が投げかけられまして、公民館内での飲食、特にアルコールについてどうなのだろうかというお話がされました。ほかの地域の地域柄といいますか、あるいは置かれている環境からすると、やはりそういうものも必要だというニュアンスのところもございましたし、学習の場である以上、それは慎んだほうがいいのではないかという話もありました。結論は出ておりませんので、またそういう意見交換をする機会を作りたいというようなことを申しておりました。ここを考えたときに、その辺はどんなものなのでしょう。

(事務局)

今現在、この新津地区公民館が入っている建物が新津地域学園という秋葉区の施設になっています。公民館は、地域学園の研修室を公民館の活動サークルに使っていただいている形です。

部屋は一つですが、新津地区公民館として貸し出す、それから新津地域学園として貸し出す、二つの場合があります。公民館としては登録されたサークルの利用に限られていますが、新津地域学園は生涯学習施設ですので、一般の方もご利用いただけます。現在、新津地域学園でのご利用をいただいた場合、部屋については一部制限がありますが、飲酒を認めています。ただし、公民館利用の中ではそういうことは現状ではありません。例えばコミュニティ協議会の活動の中で、飲酒を必要とする場合もありますので、それについては新津地域学園として許可をするということになります。

(事務局)

公民館の団体に飲酒したいというものは、ここではまずありません。今、そういうものが問題になっているのは、やはり公民館の看板しかないようなところが一番問題になっていまして、新津のように2枚看板ですと、こちらでは貸せないけれどもこちらなら貸せるというところがあるので、その辺は割とありがたい部分でもあります。議長がおっしゃったように学習施設でもあるので、おおっぴらにお酒を飲んででもいいですとは言っていないですが、実際、地域柄というものがあって、懇親を深めるうえで必要だということで、地域学園のほうは認めているという現状です。

(渡辺議長)

今、そういう状況だということですが、大体そういう方向でよろしいでしょうか。この地域の場合は。

(事務局)

現状でいいのではないかとということであれば、それで中央公民館に伝えておきます。

(渡辺議長)

では、次をお願いします。

(事務局)

報告事項を2点。一つ目ですが、旧小須戸公民館を平成29年度中に取り壊す予定になりました。まちづくりセンターの駐車場がありますが、下水道の調整池をあそこに整備するということで、それに合わせて旧小須戸公民館を壊します。おそらく夏ぐらいから秋口にかけて旧公民館を取り壊して更地にし、引き続き下水道の工事が入ります。調整池の整備は平成30年度中には終わる予定ということで、今、下水道と話を進めています。新年度に入ってから、調整池の工事や公民館の取り壊しについて地元説明会を設ける予定です。以前から調整池と取壊しは地元からの要望でしたが、今回、予算の目途がついたということで、やらせていただくことになりました。

あともう1点、公民館のロゴマークが決まりました。

今回、新潟市の公民館のシンボルマークを平成28年12月1日から応募し、1月6日に締め切ったところ、全国から310点の応募がありました。最優秀賞には、山岡さんの作品が選ばれ、優秀賞3点、入賞5点の作品が選ばれました。このマークは、平成29年度の公民館事業の広報媒体などに使用していく予定となっています。チラシやポスター、パンフレット、名刺、フェイスブック、バッジやTシャツ、シール、封筒などで、実際には、平成29年度の事業が3月から募集が始まるので、そちらのチラシから使用することになります。全国的にもマークを持つ

ている公民館は少ないということで、今後、大切に使っていきたいと思います。

デザインは、公民館の「公」の文字を人の顔に見立てて、集い、つながりをイメージし、顔が集まってつながっているようになっています。たくさんの人が集まり、話に花が咲き、たくさん笑顔が咲いて学びへの花も咲いてほしいという願いを込めたものです。

(渡辺議長)

ありがとうございました。今の説明について何かありますか。

なければ、以上とさせていただきます、事務局にお返しします。

ありがとうございました。

4. 閉会

副議長あいさつ